



南部町立南部中学校 学校だより 第7号

チーム南部中

令和3年 7月 9日 (金)
校長 望月 和彦

吹奏楽部が東京オリンピック聖火リレーに協力！



6月26日(土)オリンピックの聖火が山梨県にやってきました。その聖火リレーの山梨県の出発地点は、ご存じの通り南部町のアルカディア総合公園でした。出発セレモニーのウエルカム・プログラムでは、本校吹奏楽部の生徒15名と町内小学校の6年生が「パプリカ」の演奏と合唱を披露することができました。

この協力依頼は、昨年オリンピック延期が決定する以前からあり、吹奏楽部の多くの生徒たちが楽しみにしていました。しかし、1年間の延期があり、さらに新型コロナ感染症の拡大とともに、聖火リレー自体が直前までどうなるかわからない状態での準備と練習でした。今年の3月には吹奏楽部の生徒たちが演奏を録音し、各小学校では6年生がその録音された演奏に合わせて合唱の練習を進めてきました。本番前に予定されていた会場でのリハーサルも実施できず、やっと迎えた当日。コロナがなければ、町民をはじめたくさんの方々が会場に押し寄せたと思いますが、人数制限の厳戒態勢での出発セレモニーでした。私も会場に行くことはできなかったので、ライブ中継を画面でじっくり見させてもらいました。吹奏楽部の生徒たちは、お揃いのオリンピックのTシャツを着て、小学生の歌声にあわせて一生懸命演奏していました。日差しが暑かったようですが、指揮者の飯島教諭と生徒たちはオリンピックセレモニーという滅多に経験することができない特別な雰囲気を感じながら演奏していました。会場の参観者からの大きな拍手も聞こえました。その後、ステージ上ではオリンピック聖火が第1走者の萩原智子さんのトーチに灯され、2日間の県内での聖火リレーがスタートしました。町内では本校校医の市川万邦先生、田村昂一さんなどが聖火ランナーとして走られ、早川町では睦合小の橋本昌幸校長先生(一昨年度本校教頭)も赤沢宿を走っていました。7月23日には4年に一度の平和の祭典「東京オリンピック」が開催される予定です。新型コロナウイルス感染症という大きな脅威の中での大会です。人々の安全と安心を最優先で考え、開催する場合も、日本人ばかりでなく世界中のすべての人々から賞賛される大会になることを祈ります。

本校吹奏楽部の生徒たちは、その世界的な歴史の1ページに関わることができました。良い思い出になることでしょう。



「ふるさと探訪」

7月7日(水)1年生が「ふるさと探訪」に出かけました。例年であれば4月に実施するのですが、今年度は新型コロナ感染症の状況も考えて7月の実施としました。生徒たちが住んでいる地区でA・Bの2グループに分け、南部地区に住んでいる生徒「Aグループ」はスクールバスで富沢地区内に、富沢地区に住んでいる生徒「Bグループ」は徒歩で南部地区内に出かけ、それぞれの史跡・文化財・自然などを現地で学習しました。それぞれのグループが見学したコースは次の通りです。



それぞれのグループが見学したコースは次の通りです。

Aグループ：最恩寺仏殿→金山神社のイチョウ→顕本寺のオハツキイチョウ→万沢口留番所→万沢宿
 Bグループ：諏訪神社→浄光寺→蒙軒学舎跡地→妙浄寺→新羅神社→南部氏跡地→富士川舟運関連地
 講師には、Aグループは南部町歴史資料室準備委員の佐野正剛先生、Bグループは前教育長の芦澤和彦先生をお招きし、見学地に関わる史実や伝承、文化財の由来やその歴史的価値、自然の特色などをていねいに教えてもらいました。自分たちが生活している身近な地域に、他の地域に誇れるような歴史や文化があることに、生徒たちは驚くとともに、こうしたふるさとの歴史や文化財、自然環境をこれからも大切に、後世に伝えていかなければならない事を学びました。午後は学校で、見学地で書いたメモを見ながら、学習したことを振り返り、感想をまとめました。

避難訓練 & 保幼小中合同引き渡し訓練

6月30日（火）今年度最初の地震想定避難訓練を実施しました。避難訓練の直前に雨が降ったため、体育館への避難という形を取りましたが、教室での一次避難（机の下へもぐり、身の安全を図る）、二次避難（防災ヘルメットをかぶり、体育館へ避難する）とも、教師の指示を無言でしっかり聞き、一人一人が整然と行動することができました。体育館へ移動が完了すると、学級会長・副会長が人員確認を行い、学級担任への避難完了の報告もスムーズにできました。

避難訓練後には、引き続き町内の小学校、保育所、幼稚園と連携し「保幼小中合同引き渡し訓練」を行いました。本校では次のような場合に保護者に生徒を迎えてきていただくことになっています。



- ① 南部町で震度5弱以上の地震が発生したとき。
 - ② 町から本校周辺に「避難指示」が発令されたとき
 - ③ その他、災害や事件・事故等が発生し、緊急に引き渡しが必要になったとき
- ※いずれの場合も、安心安全メールで連絡いたしますが、①②の場合はメールでの連絡が無くても、保護者が引き取りに来ていただくことになっています。

午後3時に生徒の引き渡しのメールを配信した結果、4時半頃までにはすべての保護者が本校まで、生徒の引き取りに来ていただくことができました。ご協力ありがとうございました。

ご存じの通り、7月3日に熱海市で発生した土石流では、多数の死者や行方不明者が発生し、大災害となりました。本校西側には城山からの小河川があり、本校は「土砂災害警戒区域」に指定されています。県や町の指示を受け、昨年度「避難確保計画」を作成したところです。万が一に備え、土砂災害に対する避難訓練も近々実施する予定です。

水泳の授業

6月28日、7月5日・12日の3日間、2年生が水泳の授業を行っています。アルカディアのプールを休館日の月曜日に貸していただくため、利用できる日数とコロナ対策での人数制限を考え、今年度は2年生だけのプールの実習となりました。（3年生は一昨年度実施。1年生は来年度実施予定。）貸し切りのプールで楽しく水泳の技術を身につけています。



身延高校への逆アシスト

千野彩佳教諭と松山京介教諭は、毎週水曜日の午前中、身延高校に出かけて、高校1年生の英語と数学の授業をサポートしています。千野教諭は本校の卒業生を、松山教諭は身延中の卒業生をよく知っています。「高1ギャップ」の解消を目的に、机間巡視をしながら高校生の質問に答えたり、ヒントを与えたりしながら、学習をサポートしています。

